

2014. 2. 12(水)

18:00 - 19:30
環境総合館1階レクチャーホール
※予約不要、入場無料

しなやかな 減災社会に向けて : 減災政策と経済復興

巨大災害リスクによって生じる被害を正確に把握することは困難である。したがって、被害を軽減するための事前の備えにも限界がある。これからの減災は被害を受けてもすぐに社会の機能を回復できるような、しなやかさを追求していくことが不可欠である。こうしたしなやかさはレジリエンシーと呼ばれるが、この講義では、社会にレジリエンシーを生み出す仕組みについて、東日本大震災からの経済復興を例に挙げながら考えていきたい。

永松 伸吾

関西大学社会安全学部 准教授



主催：名古屋大学減災連携研究センター

★お問い合わせ：TEL: (052) 789-3468